

# おもしろいスペシャルなおもしろセミナー



ヴァイオリン：伝田 正秀



ヴァイオリン：西本 幸弘



ヴィオラ：長谷川 基



チェロ：吉岡 知広



コントラバス：名和 俊



ピアノ：阿部 玲子

## たくさん 出ちゃっていいんですか？



フルート：芦澤 暁男



オーボエ：西沢 澄博



クラリネット：日比野 裕幸



フアゴット：水野 一英



ホルン：須田 一之

## 名曲演奏とおもしろトークが盛りだくさん！

### 2015年10月11日(日)

午後2時開演 [午後1時30分開場]

エルパーク仙台ギャラリーホール 141ビル (仙台三越定禅寺通り館) 6階  
地下鉄勾当台公園駅 南1番出口

ヨハン・シュトラウスII世：オペレッタ「こうもり」序曲  
ヨハン・シュトラウスII世：ワルツ「春の声」  
ほか

全席自由 一般：3,000円 SPC会員：2,000円 学生(高校生以下)：1,500円

【プレイガイド】ヤマハミュージックリテイリング仙台店 (チケット発売8月1日より)

【お問合せ/ご予約】仙台フィルハーモニークラブ tel:090-6223-6203 Email:spc.yoyaku@gmail.com

※会員券はSPC事務局 (SPC受付、電話予約、メール予約) でのみ扱います。

※簡単な予約：お名前、券種、枚数を明記の上、前日までにEメールでご予約下さい。一般券に限り200円引きにいたします。

※やむを得ない事情によりプログラムなどが変更になる場合がございますので、予めご了承下さい。

“SPC”は仙台フィルのファンクラブ、今年めでたく設立20周年を迎えることになりました。それを記念するスペシャルな“おもしろセミナー”にこんなにとくさんの仙台フィルの楽員さん、元楽員さんが集まってくれるんです。スペシャルなメンバーによるスペシャルな演奏とトークをぜひお楽しみ下さい。

**西本 幸弘** Yukihiko NISHIMOTO 仙台フィルコンサートマスター

札幌市出身。6才よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後、英国王立北音楽院で首席楽誉付ディプロマ取得。同音楽院より多くの褒賞を受賞。活動は国内外を問わず、オーケストラとの共演や、ザルツブルグをはじめ世界各地の音楽祭での演奏、著名な演奏家との共演も数多い。英国にてNISHIMOTO TRIO、イゾラーニ・カルテットそれぞれを結成し、著名なホールでの招待演奏、イギリス・オーストラリア両国国営放送(BBC、ABC)などにも出演した。2010年帰国。東京フィル、読売日響など多くのオーケストラでゲストコンサートマスターとして客演を重ね、2012年より仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターに就任。ヴァイオリンを上木節子、山崎量子、北本和彦、大谷康子、田中千香士、澤和樹、ヤール・クレス各氏に師事。2014年冬よりベートーヴェンソナタ全曲演奏と、東日本大震災復興支援音楽プログラムを合わせたVIOLINable〜ディスカヴァリー〜を始める。

**伝田 正秀** Masahide DENDA 元仙台フィルコンサートマスター

長野市生まれ。父の手ほどきにより3歳よりヴァイオリンを始める。武蔵野高等学校を経て、ウィーン国立音楽大学、ウィーン市立音楽院室内楽科に留学。全日本学生音楽コンクール全国大会1位、日本クラシック音楽コンクール全国大会全部門グランプリ、JILA音楽コンクール1位、日本音楽コンクール第2位ほか多数のコンクールに入賞。帰国後、2006年仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターに就任し、6年間在籍。チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲、シェラザード、英雄の生涯などの演奏のCDが発売される。2012年、東京に拠点を移す。昭和音楽大学講師に就任。全日本学生音楽コンクールなどの審査員を務める。2014年より読売日本交響楽団アシスタントコンサートマスターに就任。これまでにヴァイオリンを掛谷洋三、中澤きみ子、ゲオルギ・バデフ、ギュンター・ピヒラーの各氏に、室内楽をアルテンベルクトリオに師事。

**長谷川 基** Motoi HASEGAWA 仙台フィルヴィオラ奏者

静岡県出身。3歳よりヴァイオリンを始め、17歳でヴィオラに転向する。1996年、武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科を卒業し、同年仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団する。アフィニス夏の音楽祭、Bowdin summer festivalに参加、草津国際音楽祭には奨学金を得て、W.ヒンク、パノハカルテットの室内楽のレッスンを受ける。2007年、チョン・ミンフンの主宰するアジアフィルの一員として日韓演奏旅行に参加する。これまでに、磯良男、ウルリヒ・コッホ、白尾偕子、ヴェーバー・ユルゲン各氏に師事する。仙台フィルヴァイオリン奏者の長谷川康は兄。

**吉岡 知広** Tomohiro YOSHIOKA 仙台フィル副首席チェロ奏者

仙台市出身。6歳よりチェロを始める。桐朋学園大学音楽部門を卒業。2011年よりドイツ、ライプツィヒ音楽演劇大学大学院に留学するとともに、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスオーケストラに学生研修生として選抜され、研鑽を積んだ。第9回ピバホールチェロコンクール第4位入賞。ソロや室内楽ではラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2009、東京・春・音楽祭2010、東京チェロアンサンブル、JTの育てるアンサンブルシリーズ、宮崎国際音楽祭等に出演。これまでにチェロを金木博幸、青木十良、藤原真理、毛利伯郎、クリスティアン・ギガーの各氏に師事。また弦楽四重奏を中心に、室内楽を今井信子氏、東京クアルテットに師事。2014年10月、仙台フィルチェロ副首席に就任。

**名和 俊** Shun NAWA 仙台フィルコントラバス奏者

福島県いわき市出身。京都市立芸術大学卒業。第1回Japan International Contrabass Competition第2位。ソリストとして仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。これまでに村上勝志、吉田秀、西口勝の各氏に師事。2015年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団コントラバス奏者。

**芦澤 暁男** Akio ASHIZAWA 仙台フィルフルート奏者

神奈川県鎌倉市生まれ。小学校6年間を仙台で過ごし、柳田隆介氏のとほごきでフルートを始める。東京音楽大学卒業。益山弘熙氏、川崎優氏、小泉剛氏に師事。1990年、仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。第5回、10回アフィニス夏の音楽祭に参加し、河野俊子女史に師事。2005年7月の仙台フィル定期演奏会では、モーツァルトのフルート協奏曲、2007年3月の仙台フィル「パロック音楽の楽しみ」では、バッハの管弦楽組曲第2番のソリストを務めた。また、2007年度のチョン・ミンフン指揮アジア・フィル韓国ツアーに参加。2008年度の小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラへ参加。シャンブル・デイス(9重奏)、Orchla(オケラ)木管5重奏団他のアンサンブルでも活動。コンクール審査員、ヤマハP.M.S.講師、常盤木学園高等学校音楽科非常勤講師等も務める。

**西沢 澄博** Kiyohiro NISHIZAWA 仙台フィル首席オーボエ奏者

青森県弘前市出身。中学校の吹奏楽部でオーボエを始める。1998年、東京音楽大学へ入学。在学中、京都国際音楽学生フェスティバルに参加。東京文化会館新進音楽家デビューオーディションに合格し、ガラ・コンサートに出演。2002年、卒業と同時に仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。同年、小澤征爾氏とロストロポーヴィチ氏が行った「キャラバン2002」のメンバーに選ばれ、東北各地で演奏を行った。ソロや室内楽活動も盛んに行い「仙台クラシックフェスティバル2008」ではソロコンサートも、2012年には仙台フィルの262回定期演奏会においてはR.シュトラウスのオーボエ協奏曲のソリストを務めた。また映画「剣岳・点の記」では独奏曲を担当した。これまでにオーボエを宮本文昭、安原理喜の両氏に師事。また、アフィニス夏の音楽祭においてV.シュトルツェンベルガー、K.クリュスの各氏の指導を受ける。

**日比野 裕幸** Hiroyuki HIBINO 元仙台フィルクラリネット奏者

大阪府出身。東京藝術大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学にて学ぶ。90、91年パシフィックミュージックフェスティバルに参加。91年仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。以降同団の定期演奏会等で度々ソリストとして演奏した。2003年にはアンサンブル金沢の定期演奏会でソリストを務めた。2001年「小澤征爾音楽塾」に講師として招かれ、演奏と指導を行う。また、宮崎国際音楽祭にも招かれている。Orchla木管五重奏団、東京クラリネットフィルハーモニー、エニグムクラリネットアンサンブルのメンバーとして室内楽でも活躍している他、第71回日本音楽コンクールのクラリネット部門に於いて審査員を務めている。2011年3月仙台フィルを退団し、4月より宮城教育大学教授に就任。指揮者としては、フィルハーモニアウインドオーケストラ常任指揮者、宮城教育大学交響楽団主宰と指揮の他、仙台シンフォニエッタの定期演奏会等で活躍している。

**水野 一英** Kazuhide MIZUNO 仙台フィル首席ファゴット奏者

新潟県立三条高等学校を経て東京芸術大学卒業。ファゴットを伊達博、岡崎耕治の両氏に、室内楽を中川良平、村井祐児、海鋒正毅の各氏に師事。また、アフィニス夏の音楽祭に参加、ダーク・イェンセン、ヘンリック・ラビーン氏等の指導を受ける。1987年東京文化会館推薦新人演奏会出演。1990年、仙台フィルハーモニー管弦楽団に入団。1992年11月、第9回日本管打楽器コンクールファゴット部門第4位入賞。2013年1月より仙台フィルハーモニー管弦楽団首席ファゴット奏者となる。

**須田 一之** Kazuyuki SUDA 仙台フィル首席ホルン奏者

秋田市出身。1993年、武蔵野音楽大学卒業。同年ドイツ・デトモルト国立音楽大学入学。在学中より、デトモルダー・ホルニステン、グランパルティータ・デトモルトのメンバーとして活躍。1994年、学生コンクール室内楽部門にて第2位受賞。1995年、デトモルト国立音楽大学を最優秀の成績で卒業。1997年仙台フィルハーモニー管弦楽団入団。1998年、第67回日本音楽コンクールホルン部門入選。ホルンを堀内晴文氏、田中正大氏、ミヒヤエル・ヘルツェル氏の各氏に師事。シンフォニアホルニステン、仙台ソリスト、シャンブル・デイスのメンバー。仙台ジュニアオーケストラ、常盤木学園高等学校、仙台白百合学園高等学校非常勤講師。

**阿部 玲子** Reiko ABE

宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業。同研究科修了。故菊地明子、W.S.カンディフ、故林秀光、大西愛子、赤城真理の各氏に師事。ウィーン国立アカデミー夏期講習、京都フランス音楽アカデミー受講。仙台を拠点にソロ、ピアノデュオ、室内楽の活動を行なう。2003年第1回ピアノデュオコンクール in Tokyoにおいて優秀賞を受賞。日本の作曲家出版演奏、現音仙台音楽展IV、東北の作曲家in仙台08・09で初演するなど現代音楽にも意欲的に取り組み、これまでに本間雅夫氏、佐々木隆二氏、小田和彦氏、門脇治氏の作品を初演。現在、東北生活文化大学短期大学部非常勤講師、宮城音楽学院講師、NPO法人東北青少年音楽コンクール理事及び審査部委員。仙台フィルハーモニークラブでは副会長も務めている。